

3月定例会に提案された議案などの議決状況

件名	議決結果
大木町職員の旅費支給条例等の一部改正	可決 (全員賛成)
大木町水道事業給水条例の一部改正	可決 (全員賛成)
大木町社会教育委員設置条例等の一部改正	可決 (全員賛成)
大木町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正	可決 (全員賛成)
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定	可決 (全員賛成)
町道の路線の廃止	可決 (全員賛成)
町道の路線の認定	可決 (全員賛成)
大木町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例一部改正	可決 (全員賛成)
大木町監査委員の選任	可決 (全員賛成)
大木町固定資産評価審査委員会委員の選任	可決 (全員賛成)
人権擁護委員候補者の推薦	可決 (全員賛成)
大木町議会委員会条例の一部改正	可決 (全員賛成)

※件名は正式名称ではありません。(わかりやすく編集しています)

本会議での質疑応答と主要予算の説明

内容	質問等	回答や説明
平成25年度補正予算	国庫補助金で、緊急経済対策である、地域の元氣臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)の使い道は	地域の元氣臨時交付金の充当事業は、議場等のLED照明工事、健康福祉センター改修事業、農村環境整備事業、集落内水路整備事業、道路維持・補修事業、道路側溝・舗装新設工事、小学校空調設備設置工事に充当したほか、中学校空調設備設置工事への充当を減額している
	総合計画目標指標中間調査委託費は、当初予算より半額以下になっている。求める品質の成果品であったか	総合計画策定業務委託業者に見積徴収し予算計上したが、発注段階で仕様を見直し、入札により業者を決定したため、大幅な減額となった。すでに成果品は納品されており、こちらが求めた品質要件を満たしている
	健康福祉センターの設計管理委託料が全額不採用になっている理由	職員による直営で対応できたため
	保育所運営委託料が大幅増になっている理由	当初見込みの入所児童数に対して、3歳未満児の中途入所児童数が増加したため
	全額国の補助金である、幼稚園預かり保育支援事業補助金を12月に補正したが不採用となった理由	本補助金は、国の「待機児童解消加速化プラン」による新たな補助制度であったが、保育士の確保ができず、この補助を受けるための条件整備が整わなかったため
	—	町制60周年記念事業を計上している
	—	小型動力ポンプ付積載車(2の4)を計画
	—	町のホームページを7年ぶりに更新する
	—	平成26年度に、平成27年度から平成29年度までの大木町障害福祉計画を策定する必要がある。
	—	自立支援給付費が毎年大幅に増額されており、23年度当初からすると倍増している
平成26年度当初予算	—	臨時福祉給付金は、低所得者に対しての消費税増税対策として支給される
	25年度補正予算同様、保育所運営委託料が大幅増になっている理由	共働き家庭の増加により、低年齢児童の保育園入所が増えたため
	—	新規事業として保育士の処遇改善のために、保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金が支給されます
	—	子育て世帯臨時特例給付金は、消費税増税対策として支給される
	—	新規事業として、合併処理浄化槽維持管理協会助成金を計上
	—	新規事業であるねご去勢術助成金は10匹分を計上
	—	こみゼロコンテストは50名分を計上
	—	不法投棄監視カメラを2台設置予定
	—	道の駅おき駐車場拡張とバイパスからの進入路安全性向上のための改修の設計費と工事費を計上
	—	国からの全額補助である緊急雇用創出事業を利用して、就業実践担い手育成事業を計画
	—	農業振興指導員雇用負担金は、JAが雇用し、費用折半で、人・農地プランの作成・指導と野菜生産の指導育成を予定している
	—	青年就農支援給付金は、新規に3名を予定している
	—	大木町地域振興事業補助金を百万円増額し、プレミアム付き商品券発行額は5千万円から7千万円の予定で、利便性の向上にも配慮するもの
	—	大木町住宅改修補助金は、廃止を予定していたが、減額し実施する
	—	25年度実施した橋梁の耐震化診断で、緊急を要する2か所を整備する
	—	町民の願いがこもった八丁半田駅前広場を整備し、利便性と安全性の向上を図る
	—	17年が経過した石丸山公園の健康遊具を整備する
	—	大光小学校体育館の吊天井改修を含めた大規模改修工事の設計委託費を計上し、平成27年度に改修工事を計画
—	新規事業として福岡県読書推進大会を本町にて開催予定	
—	町営等テニスコート(中学校含む)5面を改修する	
—	景観土地利用計画等策定委託料500万円の内訳は	検討委員会で検討中
—	農業指導委員の配置を役場にできないか	JA福岡大城の配置と決まっている

総務建設産業常任委員会活動報告

大木町商工会との意見交換会

平成26年2月19日(水)16:00～

1、課題と現状

会員数の減少により収入が減り、労務管理や経営支援が増え、個別に経営指導をしている。商品券の発行は、今年は7000万円程度を考慮しており、町から400万円の助成を予定している。努力している会員は、商品券の効果は大きい、把握は困難。大型店の影響がジワリと来ている。

2、商工会の将来のビジョン

町の活力、商売繁盛には女性部の力が大。家庭円満も女性の力。議会から女性が元気になるような機運を高めてほしい。また、相談や連絡、集える場があったまちづくりセンターを再開してほしい。

3、建築関係

ダンピングがないよう入札の工夫が必要である。また、公共施設の最新のデータが整備されていない。4m道路の取り扱いは、両岸の境界を確定後に中心線を決定するよう改善された。

4、商業関係

景観・土地利用計画は20年来的課題であり、3～4年後に条例制定できるのか。

5、住宅福祉関係

空き家を小規模多機能型居宅介護施設として利用促進できないか。また県の雇用促進住宅は、地域活性化に利用できないか。



大木町商工会館

文教厚生常任委員会活動報告

大川市文教厚生常任委員会との意見交換会

平成26年1月22日(水)13:30～

初めての試みであったが、実りの多いものがあった。互いに、先進地視察で学んだ文教厚生委員会の昨今の課題である次のことについて報告・協議した。

●報告内容

大川市

- ①市民総ヘルパー構想について
(広島県安芸高田市)
- ②小中一貫教育・プラス5プログラムについて
(広島県府中市)
- ③平和学習と被爆体験講話について
(広島県呉市)
- ④医療適正化に向けた取り組みについて
(広島県呉市)

大木町

- ①認定こども園としての取り組み
(現状と課題について)
・認定こども園めぐみ園
(鹿児島県阿久根市)
- ②地域福祉拠点
「健康くらしささえ愛工房」の活動について
・運営方法
「NPO法人おーさあ」について
(熊本市)
- ③A・Zスーパーセンター阿久根店見学
・高齢者・弱者などに送迎バス、24時間営業
(鹿児島県阿久根市)



意見交換会のようす